

令和5年度学校評価報告書

令和6年（2024年）3月22日

北海道教育委員会教育長 様

北海道芽室高等学校長 印

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

・ 学習指導の充実により、学習に対する意欲・関心を育み、確かな学力の向上を図るとともに、自らの考えを的確に伝え他と共有する態度・能力を育成する。
・ 生徒理解を基盤とした生徒指導の充実により、規範意識や基本的生活習慣の定着を図るとともに、困難に負けない強い心と他を思いやる豊かな心を育成する。
・ 発達段階に応じた健康・安全指導の充実により、体力の向上を図るとともに、自他の健康安全を適切に守る態度を育成する。
・ 「部活動休養日等の完全実施」に向けて、部活動の指導・運営に係る体制を構築する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・観点別評価法について、各教科で継続的に研究を行う必要がある。ICTを活用した授業の更なる充実を図る。	・進路多様校として、様々な目標を持つ生徒の希望を後押しできるような極めの細かい学習指導を期待したい。
改善方策	・観点別学習状況の評価方法をはじめ、適切な評価方法と指導法についての校内研修を充実させる。	
生徒指導	・いじめ防止基本方針に基づいた「いじめ」未然防止・根絶に向けた取り組みの充実を図る。SCとの連携等、教育相談体制の強化。多様性に配慮した校則の見直し。	・繊細な子どもたちを支援、後押しできるような指導の充実を図ってほしい。SNSの指導は大変だが、有効に活用することで、メリットも期待できる。より一層のモラル教育を。
改善方策	・いじめ対策委員会を定期的に行い、組織的な指導を行う。面談週間の設定等、学校全体で生徒一人ひとりを見守る体制作り。校則について、生徒や保護者、地域と検討する機会を設定する。	
進路指導	・キャリア教育の全体計画に基づき、担当者レベルだけではなく、教員の一層の連携を深めていく。	・地域でのインターンシップの活性化が図られているのが素晴らしい。今後もより連携を図っていきたい。
改善方策	・講習・模擬試験・検定等を受けるべき生徒を学年と連携しながら把握し、分掌が中心となって、連携を強化したキャリア教育を進めていく。	
健康安全	・自死の未然防止等、特に長期休業明けの生徒へのアプローチが重要である。	生徒の心の健康についてより極めの細かい組織的な指導が必要。
改善方策	・令和5年度に実施したICTを活用した健康相談アンケートの継続。校内研修の実施。	
組織運営	・PTA活動について、以前のものに戻すだけでなくいかに活性化できるか検討していく。	・コロナ禍の期間で縮小や合理化されたものを見直し、よりよい形となるよう検討が必要では。
改善方策	・働き方改革の観点からの時間外勤務縮減への取組は、よりよい教育活動につながり、生徒へもよい影響を与えることを再認識し取組を一層進めていく。	
公表方法	・本校ホームページに掲載	・学校評議員会において提示・説明

3 添付資料

- (1) 自己評価書
(2) 外部アンケート結果
(3) 自己評価・「成果と課題」および「改善の方策」についての学校評議員による評価